

令和 7 年 7 月 28 日
総合政策局海洋政策課

東アジア海域パートナーシップ（PEMSEA※）第17回年次会合が開催されました ～国連SDGs2030に向けて、PEMSEAの活動計画の見直しを議論～

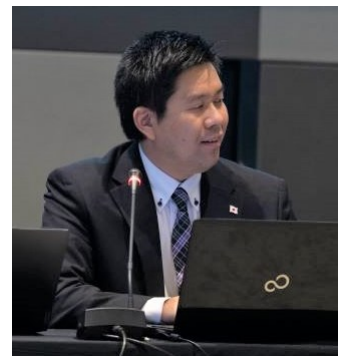
PEMSEA 第 17 回年次会合が 7 月 22 日～23 日にフィリピン・マニラで開催されました。今次会合では、国連 SDGs2030 目標に向けた PEMSEA の活動計画の見直しについて検討され、今後の活動計画におけるブルーカーボンや海洋プラスチック対策等の重要性が確認されました。また、技術部会共同議長に、我が国の脇田和美 東海大学教授が選任されました。

※PEMSEA（Partnerships in Environmental Management for the Seas of East Asia）は、東・東南アジアの沿岸海域における環境管理と持続可能な開発を促進するため、日本・中国・韓国を含む各国政府、国際機関、非政府組織（NGO）、研究機関等が参加する国際協力枠組。国土交通省 HP「[PEMSEA（東アジア海域環境管理パートナーシップ）](#)」参照。

- 日程、場所 令和 7 年 7 月 22 日（火）～7 月 23 日（水）、フィリピン・マニラ
- 参 加 国 カンボジア、中国、インドネシア、日本、ラオス、フィリピン、韓国、シンガポール、東ティモール、ベトナム
- 我が国出席者 総合政策局海洋政策課 海洋政策渉外官 川邊 将史
海洋政策調査官 森 信行 ほか
- 概 要

PEMSEA 第 17 回年次会合の主な結果は以下のとおりです。

1. 現在の PEMSEA の活動計画（2023 年～2027 年）について、国連 SDGs2030 年目標にあわせて、2030 年まで延長することが議論され、延長する活動計画においては、我が国を含む各国参加者で、ブルーカーボン生態系活用促進、海洋プラスチックごみ対策、船体付着生物の越境移動対策等の取り組みが重要であることが確認されました。日本はこれらの取り組みについて、技術や知見を PEMSEA に提供することで貢献していきます。
2. PEMSEA の技術部会共同議長として、我が国の脇田和美 東海大学教授が選任されました。技術部会では、PEMSEA の活動計画の実施に関する議論などが行われます。



我が国代表による発言



就任表明を行う脇田教授

＜問合せ先＞ 総合政策局 海洋政策課 川邊、森
TEL : 03-5253-8111（内線 24-362、24-376）
03-5253-8266（直通）
Mail : hqt-kaiyo-p2■gxb.mlit.go.jp
（※「■」を「@」（半角）に置換えてください）